

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース			
科目名	公衆衛生学					必修・選択必修の別	必修		
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	30 時間
	2年	前期	15	時間	後期	15	時間		
	3年	前期	-	時間	後期	-	時間		
担当講師	太田紘平								
	実務経験	有	現役獣医師としての実務経験を織り交ぜつつ、専門学校での公衆衛生学講義経験を生かす。						
授業概要	公衆衛生はヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療で関わるうえでも重要な分野である。人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生、滅菌や消毒、動物防疫学についても学習し、ヒトや動物の疾病予防、早期発見、健康維持や増進に役立つ知識を習得する。					授業形式	講義		
到達目標	公衆衛生の基本を理解し、人獣共通感染症や食品衛生の知識を深め、その知識を基に、将来動物看護師として動物病院内の衛生面での注意や飼い主への衛生管理指導に活かす土台を築くことができる。								
教科書・教材・服装等	インターズー 応用動物看護学②								
授業計画時間数	授業内容								
1	公衆衛生の定義や目的を知る。								
2	公衆衛生の3分野の概要を知り、国民衛生の動向を学ぶ。								
3	公衆衛生学総論を学ぶ。								
4	疫学とはどのような学問かを学ぶ。								
5	疫学の研究方法を学ぶ。								
6	感染症疫学とその他の疫学を学ぶ。								
7	サーベイランスについて学ぶ。								
8	中間テストを行う。								
9	食品衛生法を理解する。								
10~12	食中毒と食物アレルギーについて学ぶ。								
13	食品の保存方法と安全について学ぶ。								
14	前期内容の振り返りを行う。								
15	前期期末試験を行う。								
16	前期復習を行う。								
17~18	環境衛生と環境問題について考える。								
19~20	水の衛生を学ぶ。								
21	中間テストを行う。								
22	生活環境問題について理解を深める。								
23	廃棄物問題を考える。								
24	衛生動物についての理解を深める。								
25~26	人獣共通感染症の伝播様式を学び、予防対策について考える。								
27	どのような人獣共通感染症があるかを理解する。								
28~29	前期・後期の振り返りを行う。								
30	後期定期試験を行う。								
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト						実技試験		
	・平常点（授業参加意欲など）						実施しない		

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験正答率90%以上・小テスト、平常点良好
	B評価	出席率90%以上・定期試験正答率80%以上・小テスト、平常点普通
	C評価	出席率90%以上・定期試験正答率70%以上・小テスト、平常点やや劣る
	F評価	出席率80%以下・定期試験正答率60%以下・小テスト、平常点不良